

# 一般国道 7 号 朝日温海道路 〔日本海沿岸東北自動車道〕

## 費用対便益算出資料

### 〔様式集〕

・ 荒川胎内IC～鶴岡JCT（一体評価）

様式－２	P 1
様式－３①	P 3
様式－３②	P 7
様式－４	P 10
様式－５	P 12

・ 朝日温海道路

様式－１	P 14
様式－２	P 16
様式－３①	P 18
様式－３②	P 20
様式－４	P 23
様式－５	P 25
参考様式 1	P 26
参考様式 2	P 28

令和 4 年 1 2 月

北陸地方整備局

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・BP・その他別
日本海沿岸 東北自動車道	荒川胎内IC～鶴 岡JCT	L=87.0km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
3,100～17,200	2	東北地方整備局 北陸地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和4年度			
単純合計	3,934億円	1,868億円	157億円	5,960億円
うち残事業分	1,399億円	769億円		2,167億円
基準年における 現在価値 (C)	5,203億円	826億円	34億円	6,064億円
うち残事業分	1,202億円	241億円		1,443億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和4年度			
供用年	平成23年度、平成24年度、令和13年度			
単年便益 (初年便益)	48億円	7.7億円	2.8億円	58億円
基準年における 現在価値 (B)	4,995億円	921億円	274億円	6,191億円
うち残事業分	1,991億円	328億円	80億円	2,399億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.02
経済的純現在価値（事業全体）	127億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.1%
費用便益比（残事業）	1.7
経済的純現在価値（残事業）	956億円
経済的内部収益率（残事業）	7.3%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	3,100~17,200	±10%	0.9~1.1
事業費	3,934億円	±10%	1.001~1.04
事業期間	28年	±20%	1.001~1.05

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	3,100~17,200	±10%	1.4~1.8
事業費	1,399億円	±10%	1.5~1.8
事業期間	8年	±20%	1.6~1.8

# 交通状況の変化(事業全体)

様式-3①

事業名 日本海沿岸東北自動車道 荒川胎内IC~鶴岡JCT

(推計時点 R22年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 L=87.0km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	—	12,300	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	—	71	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	—	193.34	
②主な周辺道路 ※4	A. 国道7号 現道 L=89.9km	交通量	[台/日]	7,400	2,800
		走行時間	[分]	118	112
		走行時間費用	[億円/年]	180.50	57.63
	B. 国道112号 L=27.5km	交通量	[台/日]	6,000	3,000
		走行時間	[分]	40	39
		走行時間費用	[億円/年]	50.99	23.11
	C. 国道113号 L=106.3km	交通量	[台/日]	9,300	8,000
		走行時間	[分]	130	126
		走行時間費用	[億円/年]	262.48	216.31
	D. 国道345号 L=48.2km	交通量	[台/日]	10,000	2,600
		走行時間	[分]	71	66
		走行時間費用	[億円/年]	150.77	31.38
	E. 東北自動車道 L=150.9km	交通量	[台/日]	63,100	62,600
		走行時間	[分]	127	127
		走行時間費用	[億円/年]	1,773.54	1,752.54
	F. 東北中央自動車道 L=93.0km	交通量	[台/日]	17,400	16,700
		走行時間	[分]	96	94
		走行時間費用	[億円/年]	360.24	340.95
③その他道路合計 L=14,668.7km	走行時間費用	[億円/年]	23,923.81	23,876.85	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 15,271.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	26,702.33	26,492.11	210.22

※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

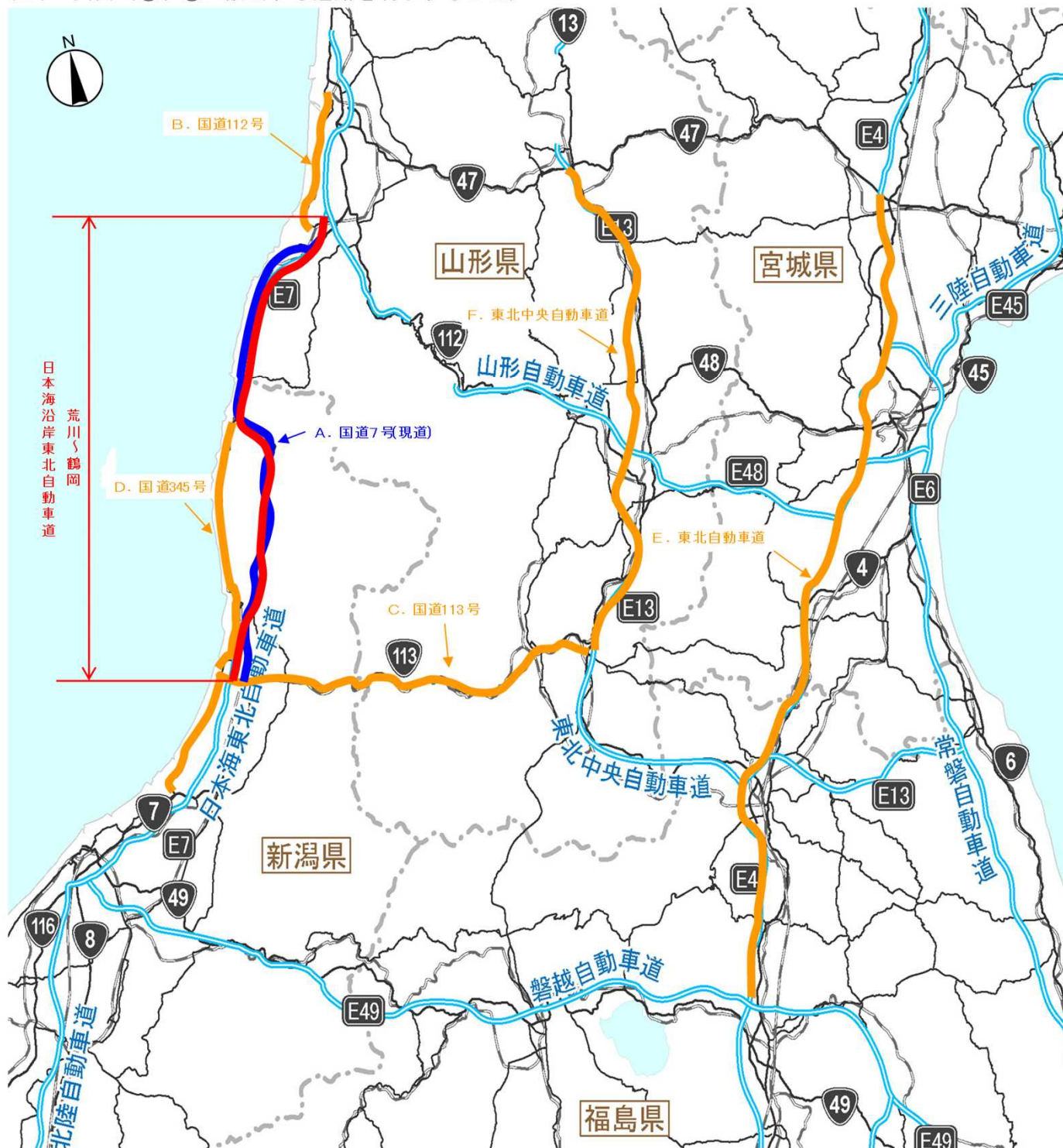
※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



# 交通状況の変化(残事業)

様式-3①

事業名 日本海沿岸東北自動車道 荒川胎内IC~鶴岡JCT

(推計時点 R22年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 L=87.0km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	8,700	12,300	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	41	71	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	79.64	193.34	
②主な周辺道路 ※4	A. 国道7号 現道 L=89.9km	交通量	[台/日]	7,400	2,800
		走行時間	[分]	120	112
		走行時間費用	[億円/年]	188.31	57.63
	B. 国道112号 L=27.5km	交通量	[台/日]	3,500	3,000
		走行時間	[分]	40	39
		走行時間費用	[億円/年]	28.09	23.11
	C. 国道113号 L=106.3km	交通量	[台/日]	8,500	8,000
		走行時間	[分]	127	126
		走行時間費用	[億円/年]	230.14	216.31
	D. 国道345号 L=48.2km	交通量	[台/日]	3,800	2,600
		走行時間	[分]	66	66
		走行時間費用	[億円/年]	45.58	31.38
	E. 東北自動車道 L=150.9km	交通量	[台/日]	63,000	62,600
		走行時間	[分]	127	127
		走行時間費用	[億円/年]	1,769.23	1,752.54
	F. 東北中央自動車道 L=93.0km	交通量	[台/日]	17,300	16,700
		走行時間	[分]	96	94
		走行時間費用	[億円/年]	358.27	340.95
③その他道路合計 L=14,668.7km	走行時間費用	[億円/年]	23,924.57	23,876.85	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 15,271.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	26,623.83	26,492.11	131.72

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

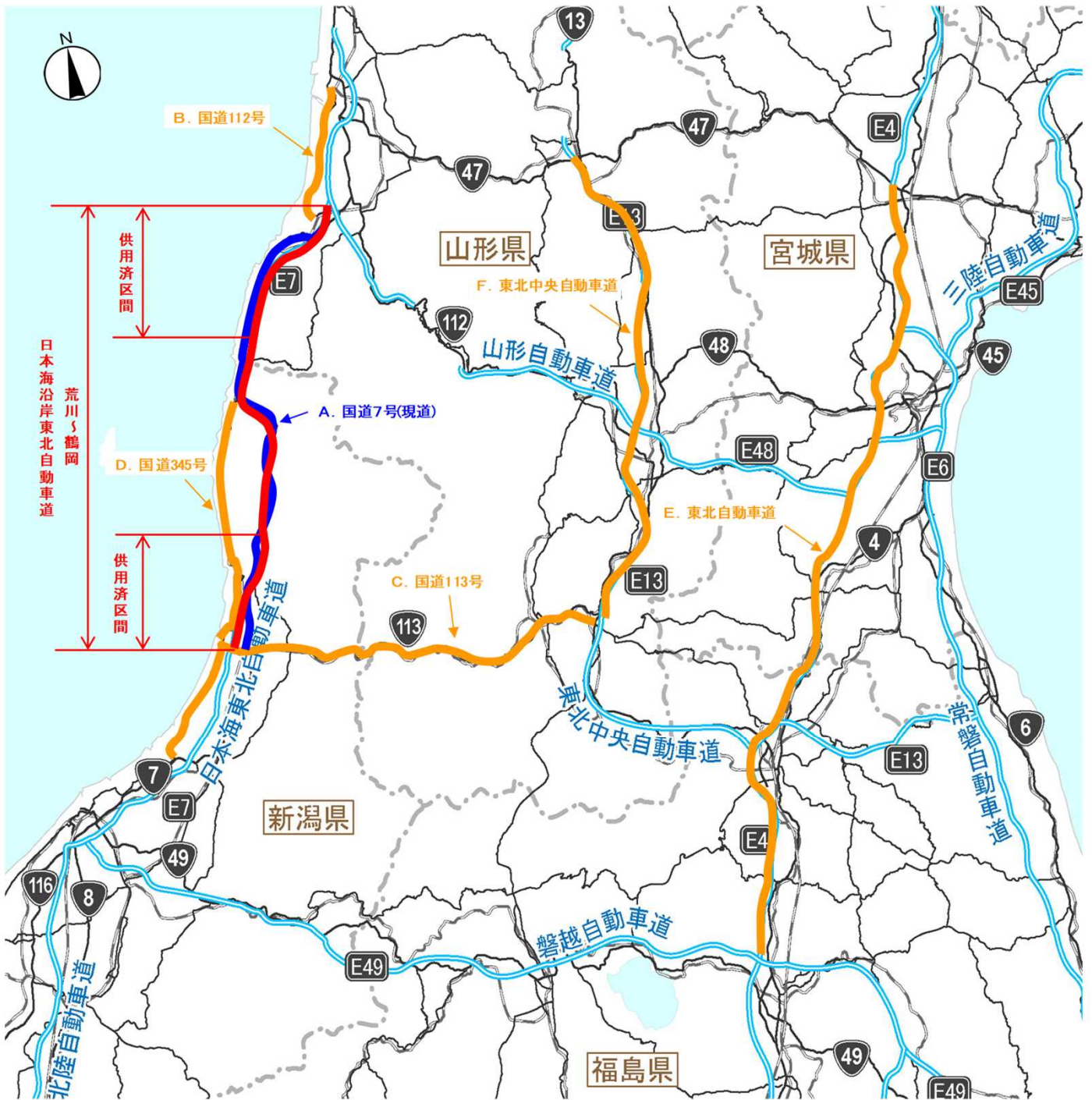
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



## 費用便益分析の条件

事業名：日本海沿岸東北自動車道 荒川胎内IC～鶴岡JCT

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和4年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R22)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他( )	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他( )	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他( )	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmax~Qmin)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他( )	<input type="checkbox"/>		



(3)

項目		チェック欄	
休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %
災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の 影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する 場合のみ	採用した冬期日数(年あたり) 採用した冬期日数の考え方を記載 降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの日数(104日)及び降雪日数(67日)を考慮	(104) 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
		通常期と冬期の速度比(降雪時11%低下、降雪時以外4%低下)を考慮	
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
	算出根拠を添付すること		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
	算出根拠を添付すること		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行 経費減少・交通事故 減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 北陸地方整備局管内直轄路線の実績値から設定		
	更新費	更新費の設定根拠を記載		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

				維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)					
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)			
				0.39	87.0	34.34			
箇所名: 日本海沿岸東北自動車道 荒川胎内IC~鶴岡JCT				事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-8年目	H 15	2.1068	106.1	75.37	152.50				
-7年目	H 16	2.0258	105.0	144.14	283.38				
-6年目	H 17	1.9479	103.7	306.23	586.15				
-5年目	H 18	1.8730	103.0	213.47	395.56				
-4年目	H 19	1.8009	102.1	243.23	437.18				
-3年目	H 20	1.7317	101.6	197.50	343.02				
-2年目	H 21	1.6651	100.3	221.86	375.31				
-1年目	H 22	1.6010	98.6	248.27	410.79				
供用開始年次	H 23	1.5395	97.2	111.52	179.99	6.97	11.25		
供用開始年次	H 24	1.4802	96.4			15.84	24.79		
2年目	H 25	1.4233	96.4	0.95	1.43	15.84	23.83		
3年目	H 26	1.3686	98.7	20.68	29.22	15.84	22.38		
4年目	H 27	1.3159	100.2	27.78	37.18	15.84	21.20		
5年目	H 28	1.2653	100.3	38.41	49.38	15.84	20.36		
6年目	H 29	1.2167	100.5	53.22	65.65	15.84	19.54		
7年目	H 30	1.1699	100.4	83.36	98.98	15.84	18.81		
8年目	R 1	1.1249	101.2	132.14	149.67	15.84	17.94		
9年目	R 2	1.0816	101.9	142.13	153.73	15.84	17.13		
10年目	R 3	1.0400	101.9	146.61	152.47	15.84	16.47		
11年目	R 4	1.0000	101.9	128.28	128.28	15.84	15.84		
12年目	R 5	0.9615	101.9	159.20	153.07	15.84	15.23		
13年目	R 6	0.9246	101.9	209.86	194.04	15.84	14.64		
14年目	R 7	0.8890	101.9	259.64	230.82	15.84	14.09		
15年目	R 8	0.8548	101.9	247.55	211.61	15.84	13.54		
16年目	R 9	0.8219	101.9	215.04	176.74	15.84	13.02		
17年目	R 10	0.7903	101.9	156.97	124.05	15.84	12.52		
18年目	R 11	0.7599	101.9	83.64	63.56	15.84	12.04		
19年目	R 12	0.7307	101.9	66.79	48.80	15.84	11.57		
供用開始年次	R 13	0.7026	101.9			31.21	21.93		
21年目	R 14	0.6756	101.9			31.21	21.08		
22年目	R 15	0.6496	101.9			31.21	20.27		
23年目	R 16	0.6246	101.9			31.21	19.49		
24年目	R 17	0.6006	101.9			31.21	18.75		
25年目	R 18	0.5775	101.9			31.21	18.03		
26年目	R 19	0.5553	101.9			31.21	17.33		
27年目	R 20	0.5339	101.9			31.21	16.67		
28年目	R 21	0.5134	101.9			31.21	16.02		
29年目	R 22	0.4936	101.9			31.21	15.41		
30年目	R 23	0.4746	101.9			31.21	14.81		
31年目	R 24	0.4564	101.9			31.21	14.24		
32年目	R 25	0.4388	101.9			31.21	13.69		
33年目	R 26	0.4220	101.9			31.21	13.17		
34年目	R 27	0.4057	101.9			31.21	12.67		
35年目	R 28	0.3901	101.9			31.21	12.18		
36年目	R 29	0.3751	101.9			31.21	11.71		
37年目	R 30	0.3607	101.9			31.21	11.25		
38年目	R 31	0.3468	101.9			31.21	10.83		
39年目	R 32	0.3335	101.9			31.21	10.41		
40年目	R 33	0.3207	101.9			31.21	10.01		
41年目	R 34	0.3083	101.9			31.21	9.62		
42年目	R 35	0.2965	101.9			31.21	9.26		
43年目	R 36	0.2851	101.9			31.21	8.90		
44年目	R 37	0.2741	101.9			31.21	8.55		
45年目	R 38	0.2636	101.9			31.21	8.23		
46年目	R 39	0.2534	101.9			31.21	7.91		
47年目	R 40	0.2437	101.9			31.21	7.61		
48年目	R 41	0.2343	101.9			31.21	7.31		
49年目	R 42	0.2253	101.9			31.21	7.03	35.21	7.93
50年目	R 43	0.2166	101.9			31.21	6.76	82.77	17.93
51年目	R 44	0.2083	101.9			31.21	6.50	39.46	8.22
52年目	R 45	0.2003	101.9			31.21	6.26		
53年目	R 46	0.1926	101.9			31.21	6.01		
54年目	R 47	0.1852	101.9			31.21	5.78		
55年目	R 48	0.1780	101.9			31.21	5.56		
56年目	R 49	0.1712	101.9			31.21	5.34		
57年目	R 50	0.1646	101.9			31.21	5.14		
58年目	R 51	0.1583	101.9			31.21	4.93		
59年目	R 52	0.1522	101.9			31.21	4.75		
60年目	R 53	0.1463	101.9			31.21	4.57		
61年目	R 54	0.1407	101.9			31.21	4.39		
62年目	R 55	0.1353	101.9			31.21	4.22		
63年目	R 56	0.1301	101.9			31.21	4.06		
64年目	R 57	0.1251	101.9			31.21	3.90		
65年目	R 58	0.1203	101.9			31.21	3.76		
66年目	R 59	0.1157	101.9			31.21	3.62		
67年目	R 60	0.1112	101.9			31.21	3.48		
68年目	R 61	0.1069	101.9			31.21	3.34		
69年目	R 62	0.1028	101.9	-283.82	-29.18	31.21	3.21		
合計				3,650.02	5,203.38	1,868.43	826.14	157.44	34.08
単純事業費計				3,933.84		1,868.43		157.44	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 日本海沿岸東北自動車道 荒川胎内IC~鶴岡JCT

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-8年目	R 5	0.9615	101.9	159.20	153.07				
-7年目	R 6	0.9246	101.9	209.86	194.04				
-6年目	R 7	0.8890	101.9	259.64	230.82				
-5年目	R 8	0.8548	101.9	247.55	211.61				
-4年目	R 9	0.8219	101.9	215.04	176.74				
-3年目	R 10	0.7903	101.9	156.97	124.05				
-2年目	R 11	0.7599	101.9	83.64	63.56				
-1年目	R 12	0.7307	101.9	66.79	48.80				
供用開始年次	R 13	0.7026	101.9			15.37	10.80		
1年目	R 14	0.6756	101.9			15.37	10.38		
2年目	R 15	0.6496	101.9			15.37	9.98		
3年目	R 16	0.6246	101.9			15.37	9.60		
4年目	R 17	0.6006	101.9			15.37	9.23		
5年目	R 18	0.5775	101.9			15.37	8.88		
6年目	R 19	0.5553	101.9			15.37	8.53		
7年目	R 20	0.5339	101.9			15.37	8.21		
8年目	R 21	0.5134	101.9			15.37	7.89		
9年目	R 22	0.4936	101.9			15.37	7.59		
10年目	R 23	0.4746	101.9			15.37	7.29		
11年目	R 24	0.4564	101.9			15.37	7.01		
12年目	R 25	0.4388	101.9			15.37	6.74		
13年目	R 26	0.4220	101.9			15.37	6.49		
14年目	R 27	0.4057	101.9			15.37	6.24		
15年目	R 28	0.3901	101.9			15.37	6.00		
16年目	R 29	0.3751	101.9			15.37	5.77		
17年目	R 30	0.3607	101.9			15.37	5.54		
18年目	R 31	0.3468	101.9			15.37	5.33		
19年目	R 32	0.3335	101.9			15.37	5.13		
20年目	R 33	0.3207	101.9			15.37	4.93		
21年目	R 34	0.3083	101.9			15.37	4.74		
22年目	R 35	0.2965	101.9			15.37	4.56		
23年目	R 36	0.2851	101.9			15.37	4.38		
24年目	R 37	0.2741	101.9			15.37	4.21		
25年目	R 38	0.2636	101.9			15.37	4.05		
26年目	R 39	0.2534	101.9			15.37	3.89		
27年目	R 40	0.2437	101.9			15.37	3.75		
28年目	R 41	0.2343	101.9			15.37	3.60		
29年目	R 42	0.2253	101.9			15.37	3.46		
30年目	R 43	0.2166	101.9			15.37	3.33		
31年目	R 44	0.2083	101.9			15.37	3.20		
32年目	R 45	0.2003	101.9			15.37	3.08		
33年目	R 46	0.1926	101.9			15.37	2.96		
34年目	R 47	0.1852	101.9			15.37	2.85		
35年目	R 48	0.1780	101.9			15.37	2.74		
36年目	R 49	0.1712	101.9			15.37	2.63		
37年目	R 50	0.1646	101.9			15.37	2.53		
38年目	R 51	0.1583	101.9			15.37	2.43		
39年目	R 52	0.1522	101.9			15.37	2.34		
40年目	R 53	0.1463	101.9			15.37	2.25		
41年目	R 54	0.1407	101.9			15.37	2.16		
42年目	R 55	0.1353	101.9			15.37	2.08		
43年目	R 56	0.1301	101.9			15.37	2.00		
44年目	R 57	0.1251	101.9			15.37	1.92		
45年目	R 58	0.1203	101.9			15.37	1.85		
46年目	R 59	0.1157	101.9			15.37	1.78		
47年目	R 60	0.1112	101.9			15.37	1.71		
48年目	R 61	0.1069	101.9			15.37	1.64		
49年目	R 62	0.1028	101.9	-11.21	-1.15	15.37	1.58		
合計				1,387.48	1,201.54	768.50	241.26	0.00	0.00
単純事業費計				1,398.69		768.50		0.00	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表(事業全体)

Table with multiple columns: 年度 (Year), 経年率 (Rate), GDP (GDP), 割引率 (Discount Rate), 走行時間短縮便益 (Time Savings Benefit), 走行時間短縮費用 (Time Savings Cost), 走行時間短縮額 (Time Savings Amount), 現在価値 (Present Value), 費用重額 (Expense Weight), 小型重額 (Small Expense Weight), 普通重額 (Regular Expense Weight), 事故減少便益 (Accident Reduction Benefit), 現在価値 (Present Value), 費用重額 (Expense Weight), 小型重額 (Small Expense Weight), 普通重額 (Regular Expense Weight), 便益合計 (Total Benefit), 現在価値 (Present Value), 費用重額 (Expense Weight), 小型重額 (Small Expense Weight), 普通重額 (Regular Expense Weight).

箇所名: 日本海沿岸東北自動車道 荒川筋内IC~鶴岡JCT

合計



(再評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道) 朝日温海道路
事業主体	北陸地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	<p>事業の効率性</p> <p>■ 便益が費用を上回っている</p>	<p>【一体型西 日本海沿岸自動車道 荒川路内IC～福岡JCT】            全体：費用便益比(B/C) = 1.02 (経済的純現在価値(B-C) = 107億円、経済的内部収益率(EIRR) = 4.1%)            残事業：費用便益比(B/C) = 1.7 (経済的純現在価値(B-C) = 956億円、経済的内部収益率(EIRR) = 7.3%)</p> <p>【朝日温海道路】            全体：費用便益比(B/C) = 1.04 (経済的純現在価値(B-C) = 95億円、経済的内部収益率(EIRR) = 4.2%)            残事業：費用便益比(B/C) = 1.7 (経済的純現在価値(B-C) = 956億円、経済的内部収益率(EIRR) = 7.3%)</p>

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<p>● 並行区間等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率</p> <p>□ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される</p> <p>□ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる</p> <p>□ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる</p>	<p>区間a(費用便益分析対象区間)について            渋滞損失時間(整備無し) : 21,433.6万人・時間/年            渋滞損失削減時間 : 188.3万人・時間/年 (21,433.6万人・時間/年⇒21,245.3万人・時間/年)</p> <p>区間b(当該区間/並行区間)について            当該区間の渋滞損失時間(整備無し) : 54.2万人・時間/年            当該区間およびバイパス区間の渋滞損失削減率 : 100.0%削減</p>
物流効率化の支	<p>□ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>□ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる</p>	

<p>1. 活力</p>	<p>都市の再生</p> <p>国土・地域ネットワークの構築</p> <p>個性ある地域の形成</p> <p>安全で安心できる暮らしの確保</p> <p>安全な生活環境の確保</p> <p>災害への備え</p> <p>地球環境の保全</p> <p>生活環境の改善・保全</p> <p>その他</p>	<p>□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である</p> <p>□ 三大都市圏の環状道路を形成する</p> <p>□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり</p> <p>□ 地域高規格道路の位置づけあり</p> <p>□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する</p> <p>□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する</p> <p>■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する</p> <p>□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクトを支援する</p> <p>■ 10等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する</p> <p>□ 新規整備の公共施設へ直結する道路である</p> <p>■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>□ 現道等に死傷事故率が500件/億キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる</p> <p>■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</p> <p>□ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p> <p>■ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する</p> <p>■ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する</p> <p>● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量</p> <p>● 現道等における自動車からのNO2排出削減率</p> <p>● 現道等における自動車からのSPM排出削減率</p> <p>□ 並行区間等で騒音レベルが夜間安静レベルを超過している区間について、新たに騒音レベルを下回ることが期待される区間がある</p> <p>□ その他、環境や景観上の効果が期待される</p> <p>□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p>□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p>	<p>村上市役所～府懸地区へのアクセス向上が見込まれる。 鶴岡市役所～風ヶ岡地区へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>村上市、鶴岡市の観光施設や温泉等へのアクセスや回遊性の向上が見込まれる</p> <p>三次医療施設である新潟県立新発田病院、日本海総合病院へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>「新潟県地域防災計画」及び「山形県地域防災計画」では、国道7号が第一緊急輸送道路として位置づけられている</p> <p>対象路線は、高規格幹線道路として位置づけられており、日本海沿岸東北自動車道（新潟県新潟市～青森県青森市）の一部区間を構成する</p> <p>現道における事前通行規制区間（蒲瀬、下大島）の迂回路として機能することが見込まれる</p> <p>費用便益分析対象範囲のCO2排出量の削減率：0.2% CO2排出削減量：約21.0千t-CO2/年 整備なし：約9,843.5千t-CO2/年 → 整備あり：約9,822.4千t-CO2/年</p> <p>費用便益分析対象範囲のNOx排出量の削減率：0.09% NOx排出削減量：約20.7t-NOx/年 整備なし：約22,513.8t-NOx/年 → 整備あり：約22,483.1t-NOx/年</p> <p>費用便益分析対象範囲のSPM排出量の削減率：0.4% SPM排出削減量：約4.5t-SPM/年 整備なし：約1,157.2t-SPM/年 → 整備あり：約1,152.7t-SPM/年</p>
--------------	---	---	---



## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他別
一般国道7号 (日本海沿岸東北自動車道)	朝日温海道路	L=40.8km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
9,800~14,500	2	東北地方整備局 北陸地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和4年度			
単純合計	2,172億円	769億円		2,941億円
うち残事業分	1,399億円	769億円		2,167億円
基準年における 現在価値(C)	2,063億円	241億円		2,304億円
うち残事業分	1,202億円	241億円		1,443億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和4年度			
供用年	令和13年度			
単年便益 (初年便益)	135億円	22億円	5.7億円	163億円
基準年における 現在価値(B)	1,991億円	328億円	80億円	2,399億円
うち残事業分	1,991億円	328億円	80億円	2,399億円

### ③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.04
経済的純現在価値（事業全体）	95億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.2%
費用便益比（残事業）	1.7
経済的純現在価値（残事業）	956億円
経済的内部収益率（残事業）	7.3%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

### ④ 感 度 分 析

#### 【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	9,800~14,500	±10%	0.9~1.1
事業費	2,172億円	±10%	0.99~1.1
事業期間	18年	±20%	0.98~1.1

#### 【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	9,800~14,500	±10%	1.4~1.8
事業費	1,399億円	±10%	1.5~1.8
事業期間	8年	±20%	1.6~1.8

# 交通状況の変化(事業全体・残事業)

様式-3①

事業名 一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道) 朝日温海道路

(推計時点 R22年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 L=40.8km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	—	12,600	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	—	33	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	—	91.20	
②主な周辺道路 ※4	A. 国道7号 現道 L=46.0km	交通量	[台/日]	9,200	800
		走行時間	[分]	65	57
		走行時間費用	[億円/年]	131.88	7.97
	B. 国道7号 L=43.8km	交通量	[台/日]	5,400	4,800
		走行時間	[分]	55	55
		走行時間費用	[億円/年]	56.43	49.66
	C. 国道113号 L=77.7km	交通量	[台/日]	7,800	7,300
		走行時間	[分]	85	84
		走行時間費用	[億円/年]	139.20	127.57
	D. 国道345号 L=48.2km	交通量	[台/日]	3,800	2,600
		走行時間	[分]	66	66
		走行時間費用	[億円/年]	45.58	31.38
	E. 東北自動車道 L=150.9km	交通量	[台/日]	63,000	62,600
		走行時間	[分]	127	127
		走行時間費用	[億円/年]	1,769.23	1,752.54
③その他道路合計 L=14,864.1km	走行時間費用	[億円/年]	24,481.51	24,431.79	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 15,271.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	26,623.83	26,492.11	131.72

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

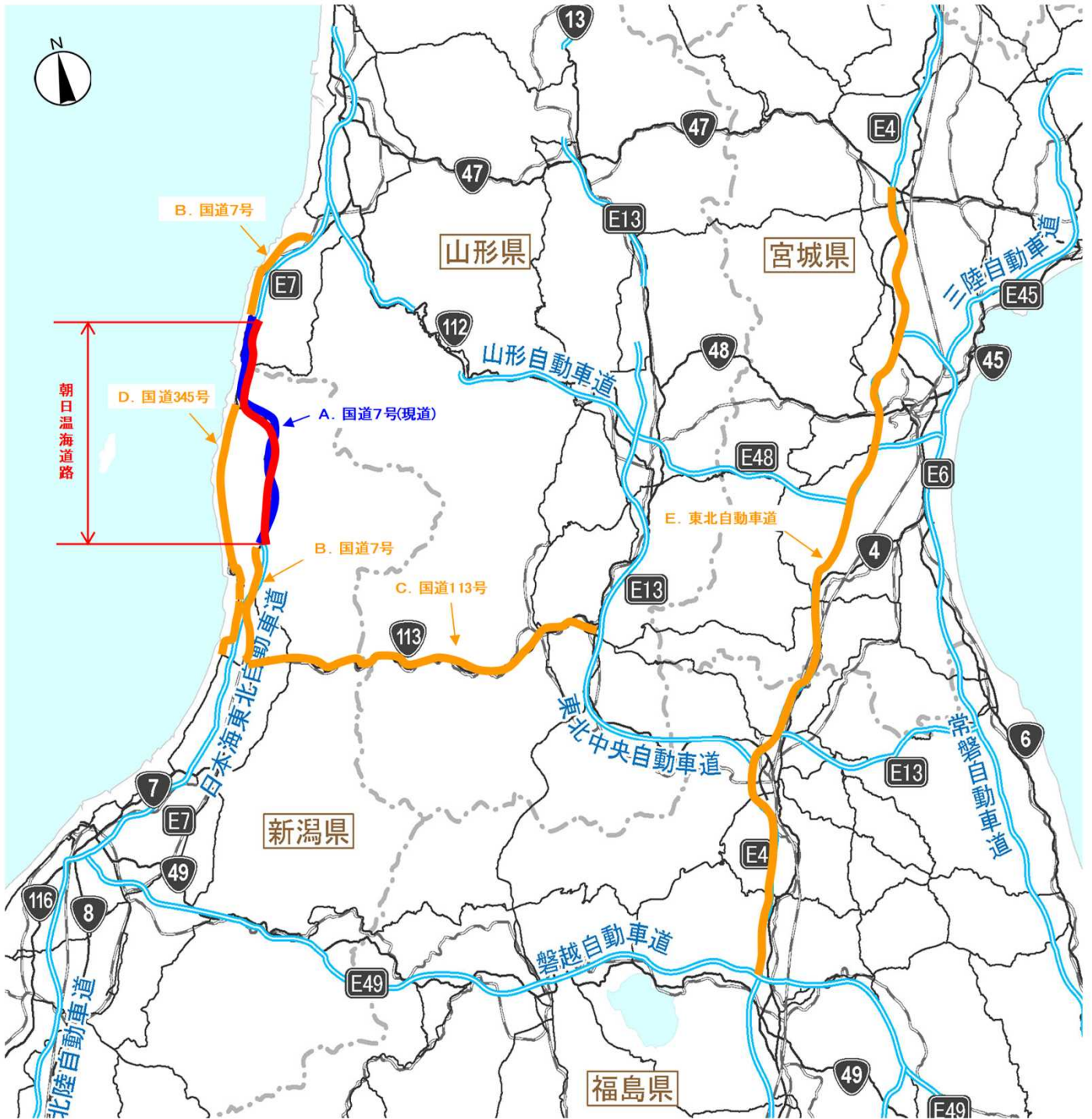
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



## 費用便益分析の条件

事業名：一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道) 朝日温海道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和4年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R22)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他( )	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	その他( )		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmax~Qmin)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	その他( )	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
考慮する		<input checked="" type="checkbox"/>		
考慮する 場合のみ		採用した冬期日数(年あたり) 採用した冬期日数の考え方を記載	(104)日	
		降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの日数(104日)及び降雪日数(67日)を考慮		
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
通常期と冬期の速度比(降雪時11%低下、降雪時以外4%低下)を考慮				
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行 経費減少・交通事故 減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名：一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道) 朝日温海道路

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		北陸地方整備局管内直轄路線の実績値から設定		
	更新費	更新費の設定根拠を記載		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
維持管理費を考慮			<input type="checkbox"/>	
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				

4. その他

費用の現在価値算定表(事業全体)

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)					
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)			
箇所名: 一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道) 朝日温海道路				0.41	40.8	16.91			
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-18年目	H 25	1.4233	96.4	0.95	1.43				
-17年目	H 26	1.3686	98.7	20.68	29.22				
-16年目	H 27	1.3159	100.2	27.78	37.18				
-15年目	H 28	1.2653	100.3	38.41	49.38				
-14年目	H 29	1.2167	100.5	53.22	65.65				
-13年目	H 30	1.1699	100.4	83.36	98.98				
-12年目	R 1	1.1249	101.2	132.14	149.67				
-11年目	R 2	1.0816	101.9	142.13	153.73				
-10年目	R 3	1.0400	101.9	146.61	152.47				
-9年目	R 4	1.0000	101.9	128.28	128.28				
-8年目	R 5	0.9615	101.9	159.20	153.07				
-7年目	R 6	0.9246	101.9	209.86	194.04				
-6年目	R 7	0.8890	101.9	259.64	230.82				
-5年目	R 8	0.8548	101.9	247.55	211.61				
-4年目	R 9	0.8219	101.9	215.04	176.74				
-3年目	R 10	0.7903	101.9	156.97	124.05				
-2年目	R 11	0.7599	101.9	83.64	63.56				
-1年目	R 12	0.7307	101.9	66.79	48.80				
供用開始年次	R 13	0.7026	101.9			15.37	10.80		
1年目	R 14	0.6756	101.9			15.37	10.38		
2年目	R 15	0.6496	101.9			15.37	9.98		
3年目	R 16	0.6246	101.9			15.37	9.60		
4年目	R 17	0.6006	101.9			15.37	9.23		
5年目	R 18	0.5775	101.9			15.37	8.88		
6年目	R 19	0.5553	101.9			15.37	8.53		
7年目	R 20	0.5339	101.9			15.37	8.21		
8年目	R 21	0.5134	101.9			15.37	7.89		
9年目	R 22	0.4936	101.9			15.37	7.59		
10年目	R 23	0.4746	101.9			15.37	7.29		
11年目	R 24	0.4564	101.9			15.37	7.01		
12年目	R 25	0.4388	101.9			15.37	6.74		
13年目	R 26	0.4220	101.9			15.37	6.49		
14年目	R 27	0.4057	101.9			15.37	6.24		
15年目	R 28	0.3901	101.9			15.37	6.00		
16年目	R 29	0.3751	101.9			15.37	5.77		
17年目	R 30	0.3607	101.9			15.37	5.54		
18年目	R 31	0.3468	101.9			15.37	5.33		
19年目	R 32	0.3335	101.9			15.37	5.13		
20年目	R 33	0.3207	101.9			15.37	4.93		
21年目	R 34	0.3083	101.9			15.37	4.74		
22年目	R 35	0.2965	101.9			15.37	4.56		
23年目	R 36	0.2851	101.9			15.37	4.38		
24年目	R 37	0.2741	101.9			15.37	4.21		
25年目	R 38	0.2636	101.9			15.37	4.05		
26年目	R 39	0.2534	101.9			15.37	3.89		
27年目	R 40	0.2437	101.9			15.37	3.75		
28年目	R 41	0.2343	101.9			15.37	3.60		
29年目	R 42	0.2253	101.9			15.37	3.46		
30年目	R 43	0.2166	101.9			15.37	3.33		
31年目	R 44	0.2083	101.9			15.37	3.20		
32年目	R 45	0.2003	101.9			15.37	3.08		
33年目	R 46	0.1926	101.9			15.37	2.96		
34年目	R 47	0.1852	101.9			15.37	2.85		
35年目	R 48	0.1780	101.9			15.37	2.74		
36年目	R 49	0.1712	101.9			15.37	2.63		
37年目	R 50	0.1646	101.9			15.37	2.53		
38年目	R 51	0.1583	101.9			15.37	2.43		
39年目	R 52	0.1522	101.9			15.37	2.34		
40年目	R 53	0.1463	101.9			15.37	2.25		
41年目	R 54	0.1407	101.9			15.37	2.16		
42年目	R 55	0.1353	101.9			15.37	2.08		
43年目	R 56	0.1301	101.9			15.37	2.00		
44年目	R 57	0.1251	101.9			15.37	1.92		
45年目	R 58	0.1203	101.9			15.37	1.85		
46年目	R 59	0.1157	101.9			15.37	1.78		
47年目	R 60	0.1112	101.9			15.37	1.71		
48年目	R 61	0.1069	101.9			15.37	1.64		
49年目	R 62	0.1028	101.9	-56.29	-5.79	15.37	1.58		
合計				2,115.96	2,062.89	768.50	241.26	0.00	0.00
単純事業費計				2,172.25		768.50		0.00	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。



## 費用の現在価値算定表(残事業)

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)					
箇所名: 一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道) 朝日温海道路				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)			
				0.41	40.8	16.91			
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-8年目	R 5	0.9615	101.9	159.20	153.07				
-7年目	R 6	0.9246	101.9	209.86	194.04				
-6年目	R 7	0.8890	101.9	259.64	230.82				
-5年目	R 8	0.8548	101.9	247.55	211.61				
-4年目	R 9	0.8219	101.9	215.04	176.74				
-3年目	R 10	0.7903	101.9	156.97	124.05				
-2年目	R 11	0.7599	101.9	83.64	63.56				
-1年目	R 12	0.7307	101.9	66.79	48.80				
供用開始年次	R 13	0.7026	101.9			15.37	10.80		
1年目	R 14	0.6756	101.9			15.37	10.38		
2年目	R 15	0.6496	101.9			15.37	9.98		
3年目	R 16	0.6246	101.9			15.37	9.60		
4年目	R 17	0.6006	101.9			15.37	9.23		
5年目	R 18	0.5775	101.9			15.37	8.88		
6年目	R 19	0.5553	101.9			15.37	8.53		
7年目	R 20	0.5339	101.9			15.37	8.21		
8年目	R 21	0.5134	101.9			15.37	7.89		
9年目	R 22	0.4936	101.9			15.37	7.59		
10年目	R 23	0.4746	101.9			15.37	7.29		
11年目	R 24	0.4564	101.9			15.37	7.01		
12年目	R 25	0.4388	101.9			15.37	6.74		
13年目	R 26	0.4220	101.9			15.37	6.49		
14年目	R 27	0.4057	101.9			15.37	6.24		
15年目	R 28	0.3901	101.9			15.37	6.00		
16年目	R 29	0.3751	101.9			15.37	5.77		
17年目	R 30	0.3607	101.9			15.37	5.54		
18年目	R 31	0.3468	101.9			15.37	5.33		
19年目	R 32	0.3335	101.9			15.37	5.13		
20年目	R 33	0.3207	101.9			15.37	4.93		
21年目	R 34	0.3083	101.9			15.37	4.74		
22年目	R 35	0.2965	101.9			15.37	4.56		
23年目	R 36	0.2851	101.9			15.37	4.38		
24年目	R 37	0.2741	101.9			15.37	4.21		
25年目	R 38	0.2636	101.9			15.37	4.05		
26年目	R 39	0.2534	101.9			15.37	3.89		
27年目	R 40	0.2437	101.9			15.37	3.75		
28年目	R 41	0.2343	101.9			15.37	3.60		
29年目	R 42	0.2253	101.9			15.37	3.46		
30年目	R 43	0.2166	101.9			15.37	3.33		
31年目	R 44	0.2083	101.9			15.37	3.20		
32年目	R 45	0.2003	101.9			15.37	3.08		
33年目	R 46	0.1926	101.9			15.37	2.96		
34年目	R 47	0.1852	101.9			15.37	2.85		
35年目	R 48	0.1780	101.9			15.37	2.74		
36年目	R 49	0.1712	101.9			15.37	2.63		
37年目	R 50	0.1646	101.9			15.37	2.53		
38年目	R 51	0.1583	101.9			15.37	2.43		
39年目	R 52	0.1522	101.9			15.37	2.34		
40年目	R 53	0.1463	101.9			15.37	2.25		
41年目	R 54	0.1407	101.9			15.37	2.16		
42年目	R 55	0.1353	101.9			15.37	2.08		
43年目	R 56	0.1301	101.9			15.37	2.00		
44年目	R 57	0.1251	101.9			15.37	1.92		
45年目	R 58	0.1203	101.9			15.37	1.85		
46年目	R 59	0.1157	101.9			15.37	1.78		
47年目	R 60	0.1112	101.9			15.37	1.71		
48年目	R 61	0.1069	101.9			15.37	1.64		
49年目	R 62	0.1028	101.9	-11.21	-1.15	15.37	1.58		
合計				1,387.48	1,201.54	768.50	241.26	0.00	0.00
単純事業費計				1,398.69		768.50		0.00	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表(事業全体・残事業)

箇所名:一級国道7号(日本海沿岸東北自動車道)朝日湯海道路

Table with columns for Year (年度), GDP, Profit Rate (割引率), Short-term Benefit (走行時間短縮便益), Long-term Benefit (走行経費減少便益), and Total (合計). Rows include 'Start of Use' (供用開始年次) and 'Year' (年次) from R13 to R62.

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道7号 (日本海沿岸東北自動車道)	朝日温海道路	2	40.8km

■事業費内訳【全事業費】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					179,129	
	改良費				47,226	
		土工	m <sup>3</sup>	6,616,408	34,081	切土(202万m <sup>3</sup> )、盛土(387万m <sup>3</sup> )、捨土(95万m <sup>3</sup> )
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	0	0	
		法面工	m <sup>2</sup>	363,840	1,341	切土法面、盛土法面、法枠工
		擁壁工	式	1	915	補強土壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	1,137	143	
		函渠工	m	2,345	1,508	
		排水工	m	70,331	1,186	
		中央分離帯工	m	36,814	811	
		雑工	式	1	7,241	側道工、地すべり対策費など
	橋梁費				12,400	
		100m以上	m	1,583	6,887	9橋
		100m未満	m	1,237	5,513	20橋
	トンネル費				100,277	
		NATM	m	18,190	100,277	21本(上下線)
					0	
	IC・JCT費				7,141	
		IC	箇所	7	7,141	ダイヤモンド型(1)、集約ダイヤモンド型(5)、ハーフIC(1)
	舗装費				8,656	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	658,223	8,656	
	付帯施設費				3,429	
		交通管理施設工	式	1	3,429	標識、防護柵、情報版など
②用地及補償費					9,367	
	用地費		m <sup>2</sup>		5,629	
		宅地	m <sup>2</sup>	42,139	458	
		田畑	m <sup>2</sup>	576,845	4,306	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	765,691	865	
		その他	m <sup>2</sup>	0	0	
	補償費		式	1	3,738	
③間接経費			式	1	49,503	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					238,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近隣事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近隣箇所の直近実績を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道7号 (日本海沿岸東北自動車道)	朝日温海道路	2	40.8km

■事業費内訳【残事業】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					120,853	
	改良費				29,052	
		土工	m <sup>3</sup>	4,408,114	22,210	切土(122万m <sup>3</sup> )、盛土(286万m <sup>3</sup> )、捨土(13万m <sup>3</sup> )
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	0	0	
		法面工	m <sup>2</sup>	331,155	1,218	切土法面、盛土法面、法粹工
		擁壁工	式	1	770	補強土壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	636	80	
		函渠工	m	1,372	764	
		排水工	m	62,098	912	
		中央分離帯工	m	36,814	811	
		雑工	式	1	2,288	側道工、地すべり対策費など
	橋梁費				9,710	
		100m以上	m	1,583	5,532	9橋
		100m未満	m	1,237	4,178	20橋
	トンネル費				67,516	
		NATM	m	17,132	67,516	21本(上下線)
	IC・JCT費				3,064	
		IC	箇所	7	3,064	ダイヤモンド型(1)、集約ダイヤモンド型(5)、ハーフIC(1)
	舗装費				8,657	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	658,223	8,657	
	付帯施設費				2,854	
		交通管理施設工	式	1	2,854	標識、防護柵、情報版など
②用地及補償費					1,843	
	用地費		m <sup>2</sup>		1,121	
		宅地	m <sup>2</sup>	49	38	
		田畑	m <sup>2</sup>	1,514	1,072	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	5,853	11	
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	1	722	
③間接経費			式	1	31,046	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					153,743	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近隣事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近隣箇所の直近実績を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道)	朝日温海道路	2	40.8km

### ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	40.8	24,750	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	59,800	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			84,550	

#### 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。